

さいたま市文化財時報

かや 榎りぼーと

第6号

平成14年度 文化財保存事業費 補助金交付事業の概要

指定文化財の多くは、市民の方々が所有・管理されているものです。文化財を後世に伝えてゆくためには、日々の維持管理や修理、後継者育成などが不可欠ですが、そのために所有者や管理者の方々が大きな負担を負う事もあります。

この負担を少しでも減らし、文化財を守るため、市の文化財保護事業の一環として、文化財保存事業に対する補助金の交付を行っています。有形文化財の修理、無形文化財の後継者育成・公開、天然記念物の保護・養生などが対象となります。ここに御紹介するのは、今年度実施している補助金交付事業の数々です。

県指定有形文化財（典籍）

「紙本墨書大般若波羅蜜多經」裏打ち修理事業

14世紀中頃、河越氏の安泰を願って写経され、氷川女体神社に伝わってきた経本です。全600巻中539巻が現存します。昭和51年から修理を進めており、これまでに336巻分の作業を終えました。今年度も10巻分の修理を行います。



修理予定の経典（部分）

修理中の獅子頭



市指定有形民俗文化財

「南部領辻の獅子舞獅子頭、衣装及び道具類」修理事業

かつて県指定無形文化財でしたが、一時期後継者が途絶えていたため、現在は道具類のみ市指定となっています。今年度は獅子頭三頭の修理及び天狗衣装の新調を行い、10月6日に県立民俗文化センターでの公演、10月14日に鷲神社への奉納で披露される予定です。

氷川神社奉納(8月31日)



市指定無形民俗文化財

「深作ささら獅子舞」後継者育成事業・公開事業

深作地区に江戸時代の初期から伝わる獅子舞です。戦後いったん途絶えましたが、昭和58年に復活して以来、活発な活動を行い、各所での公演や春岡小学校クラブ活動での指導など、公開と舞の継承に力を注いでいます。

今年も、8月31日に深作氷川神社で奉納が行われました。

市指定無形民俗文化財

「秋葉ささら獅子舞」後継者育成事業・公開事業

秋葉三尺坊(永昌寺)の修験者により、室町時代の末に当地に伝えられたといわれる獅子舞です。例年、秋葉神社と永昌寺に奉納を行っています。

今年7月13日の奉納では、小中学生の後継者も初めて獅子頭を着けて踊り、4年間の練習の成果を見事披露しました。



秋葉神社奉納(7月13日)

日進神社奉納(元旦)



市指定無形民俗文化財

「日進餅つき踊り」後継者育成事業・公開事業

もとは、中山道大宮宿に助郷に出た村人が、武士や大名を接待するため行っていたものといわれます。現在は元旦に日進神社に奉納される他、地域の行事などで公演されます。保存会には、地域の小中学生や自衛隊大宮駐屯地の隊員も参加し、元旦に向けて練習を重ねています。

市指定無形民俗文化財

「大久保領家の民謡と踊」後継者育成事業・公開事業

長く地域の念仏講「和齋講」、平成9年からは保存会により継承されてきた歌や踊りです。演目は作業歌、祝歌、音頭など多種に渡り、また歌の復活にも力を入れています。毎年、地域の行事や祭事などに出演しており、今年も9月15日の敬老祭などで公演を行います。



敬老祭公演(昨年9月)

後継者練習の様子



市指定無形民俗文化財

「神田の祭りばやし」後継者育成事業・公開事業

明治時代に大久保領家地区から伝わったもので、元々は江戸の神田囃子の流れを汲むといわれています。今年も、身形社春祈禱祭(4月)、秋季例祭(9月)などで奉納を行いました。正月の月読社打初式、2月の稲荷社例祭などでも奉納を行う予定です。

敬老会公演(昨年9月)



市指定無形民俗文化財

「円阿弥の万作踊り」公開事業

明治15年頃、側ヶ谷戸に住んでいた師匠に習って始めたといわれる踊りです。豊年満作の祈願として、また当時の数少ない娯楽として舞われて来ました。現在は保存会が受け継いでおり、毎年9月15日の地区の敬老会など、各所からの依頼に応じて公演を行っています。

このほか本年度は、見沼通船堀史跡環境維持事業及び文化財普及啓発事業について、3団体に補助金を交付しています。また、文化財に突発的な損傷などが起こり、その対処や修復に大きな負担を要する場合、緊急補助を随時行っています。本年度はこれまでに3件について交付が決まりました。

TOPIC

●文化財新指定

平成14年8月23日付けで、次の二件の文化財がさいたま市指定文化財として指定されました。次号で詳しく御紹介する予定です。

有形文化財(絵画) 廓信寺紙本着色釈迦涅槃図 服部尚匡筆 一幅

有形文化財(彫刻) 廓信寺鳳凰文欄間 服部尚匡作 三面

●見沼通船堀閘門開閉実演

8月27日、見沼通船堀東縁にて、恒例の閘門開閉実演が行われました。通船堀は国内最古の閘門式運河といわれ、平成6年にはかつての閘門を復元、保存しています。当日はこれを実際に開閉し、水位の調節と船の航行の様子を再現しました。たいへん多くの方に訪れていただき、盛況のうちに実演を行うことができました。



開閉の様子

●第1回文化財保護審議会開催

平成14年度第1回文化財保護審議会が、去る7月25日に開催されました。主に指定候補文化財について審議が行われ、2件について文化財指定を行うこと、5件について今年度の調査対象とすることなどが決められました。

文化財保護日誌

12

13. 6. 3 巽遺跡確認調査

錦乃原桜草園囲柵修理

6. 4 B-60号遺跡確認調査

6. 5 県教育委員会調査(大久保の大ケヤキ)

大東北遺跡・東裏南遺跡確認調査

他市施設視察(所沢市立埋蔵文化財セン

ター・朝霞市埋蔵文化財センター)

6. 6 大間木内谷遺跡確認調査

南部地区文化財担当者会議

6. 10 大在家東遺跡確認調査

6. 11 文化財調査(氷川参道の並木)

宿宮前遺跡確認調査

6. 13 文化財調査(氷川参道の並木)

川本町より調査(畠山重忠関係資料)

- 大北遺跡確認調査・大東遺跡確認調査
- 6.14 文化財調査（大久保の大ケヤキ・法光寺のイヌツゲ）
下落合本村遺跡・三室原前遺跡確認調査
県費補助金申請書受領会
- 6.17 B-105号遺跡確認調査
- 6.18 会ノ谷遺跡確認調査
- 6.19 氷川神社北遺跡確認調査
文化財調査（十王尊の大イチョウ）
- 6.21 馬場小室山遺跡確認調査
- 6.24 上木崎足立遺跡確認調査
- 6.25 文化財調査（南部領辻の獅子舞獅子頭、
衣装及び道具類）
丸ヶ崎遺跡・中川八幡遺跡確認調査
- 6.26 並木貝塚確認調査
- 6.27 大在家遺跡・札の辻3号遺跡確認調査
郷土芸能のつと第二回準備会
- 7.1 不動谷北遺跡確認調査
附島遺跡発掘調査（～7.11）
- 7.2 A-61号遺跡発掘調査（～8.1）
- 7.3 櫛谷遺跡発掘調査（～8.8）
- 7.4 下落合本村遺跡確認調査
- 7.5 並木貝塚発掘調査（～7.11）
- 7.8 大東一丁目遺跡・附島遺跡確認調査
- 7.9 琵琶島貝塚確認調査
- 7.10 大北遺跡確認調査
- 7.12 奈良文化財研究所より調査（見沼通船堀）
- 7.13 文化財調査（秋葉ささら獅子舞）
- 7.15 水深北遺跡発掘調査（～8.9）
- 7.17 原遺跡・水深遺跡確認調査
白鍬宮腰遺跡出土埴輪搬出（市博展示・
～9.4）
- 7.18 大間木内谷遺跡・細野遺跡確認調査
- 7.19 瀬ヶ崎前島遺跡・大東一丁目遺跡確認調査
文化財指定書交付
- 7.22 三室北宿西遺跡確認調査
- 7.23 大間木内谷遺跡確認調査
県教育委員会政令市移行事務打合せ
- 7.24 和田北遺跡確認調査（～7.25）
水深西遺跡発掘調査（～8.9）
茶臼塚古墳下草刈払い
- 7.25 第1回文化財保護審議会
- 7.26 南中丸遺跡確認調査
全史協関東地区協議会総会（日光市）
- 7.29 文化財調査（カキノキ・宮原の大ケヤキ）
- 7.31 文化財保護年報No.2・指定文化財総目録
刊行
文化財調査（氷川女體神社の名越祓え・
深作ささら獅子舞）
明花南遺跡確認調査
- 8.1 文化財調査（宮原の大ケヤキ・大宮まつり）
- 8.2 山王東3号遺跡確認調査
- 8.5 A-135号遺跡確認調査
- 8.6 大在家東遺跡確認調査
- 8.8 郷土芸能のつと第三回準備会
- 8.9 真土2号遺跡確認調査
- 8.19 西裏南遺跡確認調査
- 8.20 道祖土蔵下遺跡・立葉遺跡確認調査
中尾中丸南遺跡発掘調査（～9.27）
- 8.21 並木貝塚・中原後遺跡確認調査
県教育委員会政令市移行事務打合せ
- 8.23 文化財新指定（廓信寺紙本着色釈迦涅槃
図・廓信寺鳳凰文欄間）
清水市より視察（合併事務関連）
- 8.24 文化財調査（高木地藏堂紙本着色十王地
獄図・指扇地区餅搗踊り）
- 8.26 文化財調査（氷川女體神社社叢・睦神社
社叢）
中尾緑島西遺跡発掘調査
- 8.27 西谷遺跡確認調査
見沼通船堀開門開閉実演
- 8.28 札の辻1号遺跡確認調査
文化財調査（指扇地区餅搗踊り）
- 8.29 西浦2号遺跡確認調査
- 8.30 水深遺跡確認調査
- 9.2 大久保領家片町遺跡確認調査（～9.4）
- 9.3 坊ノ在家北遺跡・山王西1号遺跡確認調査

さいたま市文化財時報

樞りぼーと 第6号

平成14年10月11日

〈編集・発行〉

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課

☎336-8633 さいたま市常盤6-4-4

☎048-829-1721